

母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）2023年度研究大会
研究発表 Session 1 Room 3

【ショートプレゼンテーション】

インクルーシブな言語学習環境について考えるための教師用ケース教材
—社会レベルで考えることの意味—

発表者

古屋 憲章（山梨学院大学），植村 麻紀子（神田外語大学），池谷 尚美（横浜市立大学）
中川 正臣（城西国際大学），山崎 直樹（関西大学）

発表者

- 古屋 憲章（山梨学院大学）：日本語教育
植村 麻紀子（神田外語大学）：中国語教育
池谷 尚美（横浜市立大学）：ドイツ語教育
中川 正臣（城西国際大学）：韓国語教育
山崎 直樹（関西大学）：中国語教育

本ショートプレゼンテーションの流れ

● 15:00-15:08

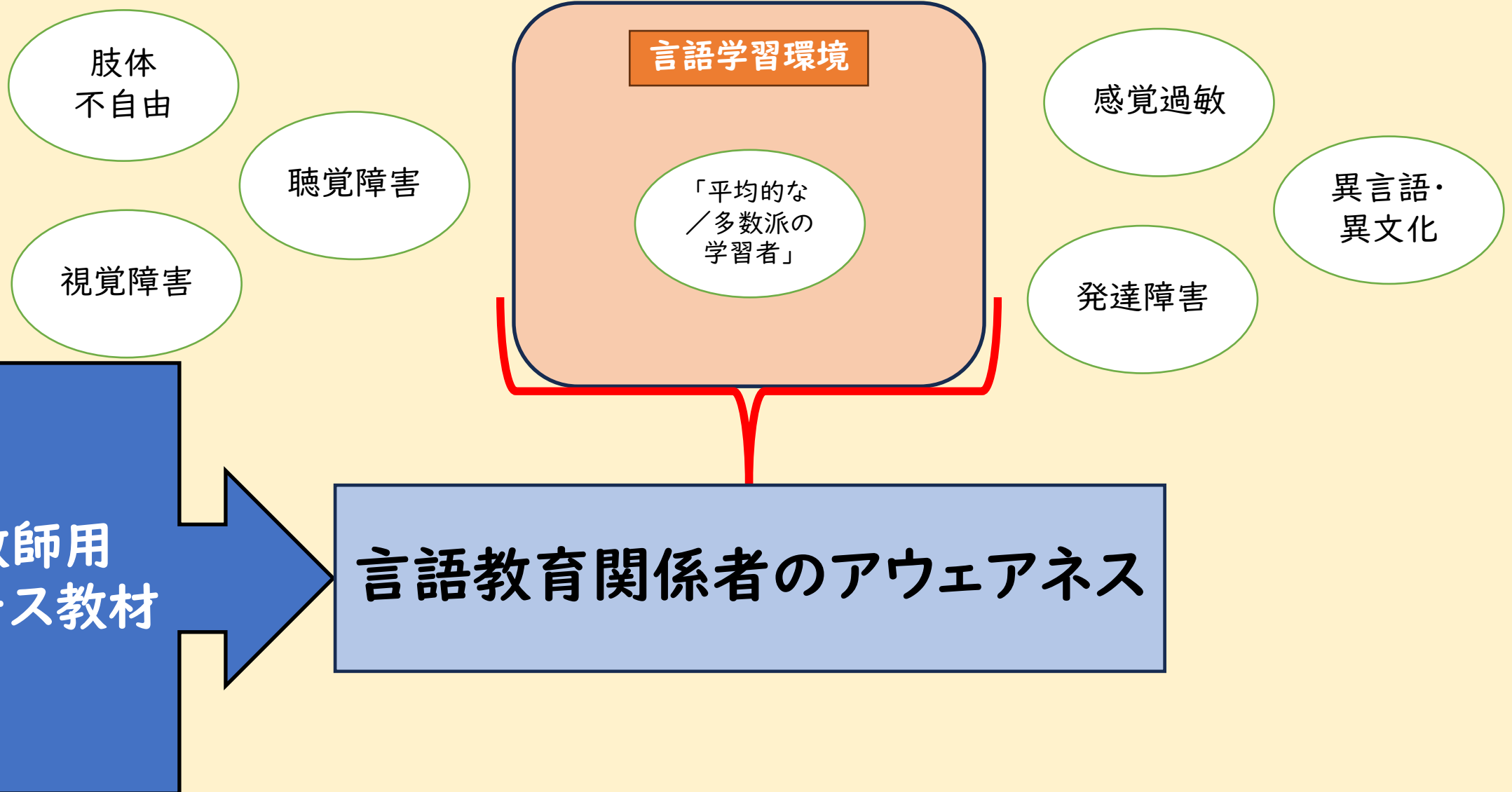
教師用ケース教材とその開発意図

● 15:08-15:28

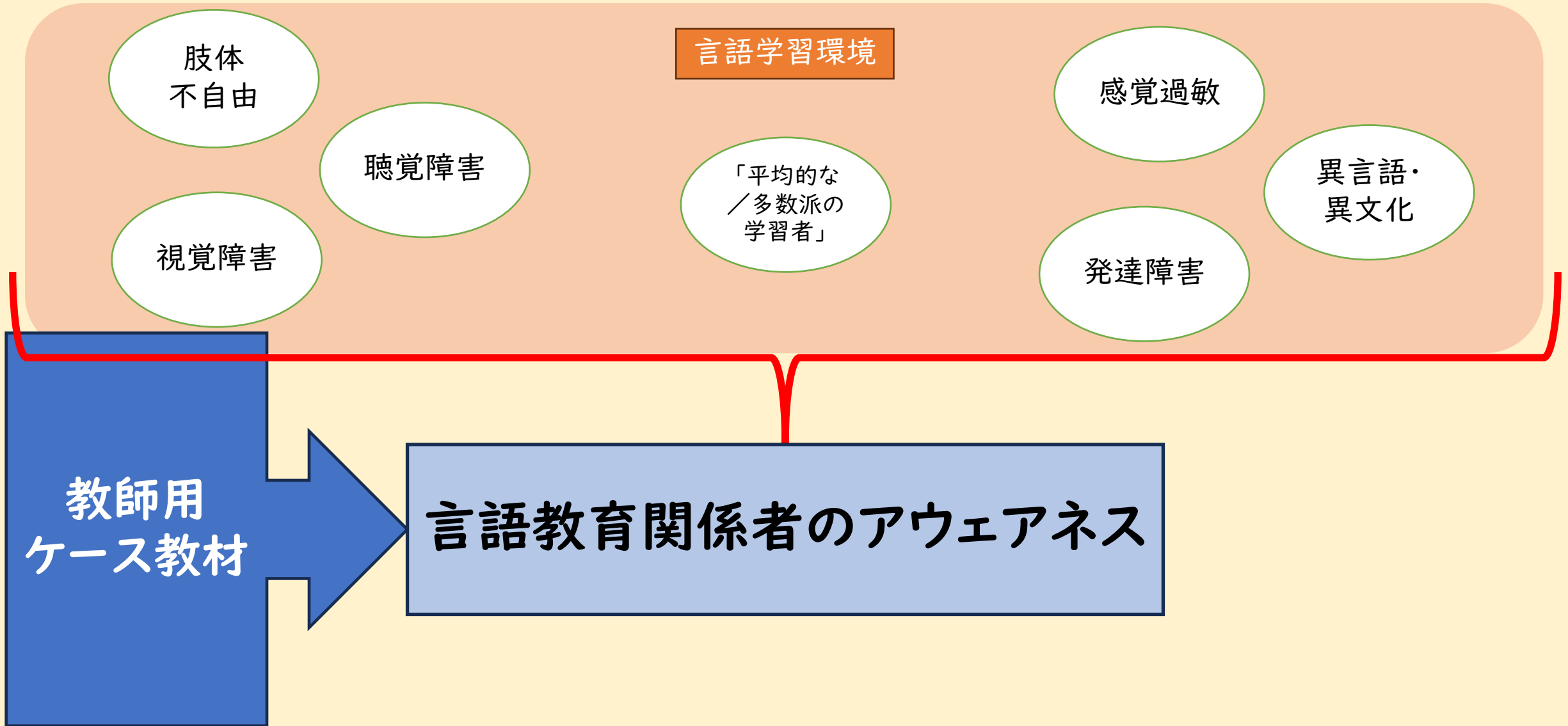
質疑応答 & ディスカッション

- ① ケースと「ケースについて考える」は、開発意図に照らして、適切か。
- ② 社会レベルの問いを設定することにどのような意義があるか。

1. 問題意識



1. 問題意識



言語学習環境

肢体
不自由

聴覚障害

視覚障害

「平均的な
／多数派の
学習者」

感覚過敏

発達障害

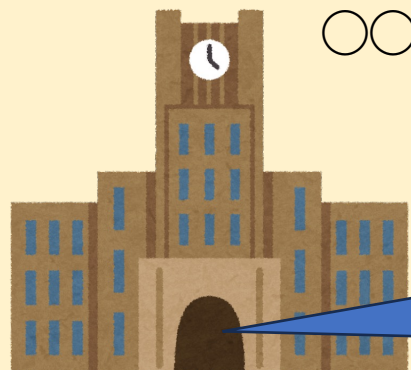
異言語・
異文化

教師用
ケース教材

言語教育関係者のアウェアネス

2. 教師用ケース教材

【ケース（要約）】



〇〇大学

南さんは物を忘れることが多いため、課題等を課す場合は、できるだけ文字で伝えてほしい。

南さん（韓国語学習者）



スマホのリマインダアプリ



リマインダを共有するアプリを使って、定期的に課題に関する連絡が受け取れるようにしてほしいです。私にだけ連絡すると特別扱いをされているようなので、クラス全員に連絡するようにはどうでしょうか。

うーん・・・わかりました。そうしましょう。（アプリを導入することでクラス全体の課題提出率も向上するかも）



私（韓国語教師）

- ADHDの診断
- 文字で伝えても、メモを見ることを忘れてしまう
- 複数の課題を抱えるとパニックになってしまう
→期限までに提出できない

2. 教師用ケース教材

【ケース（要約）】

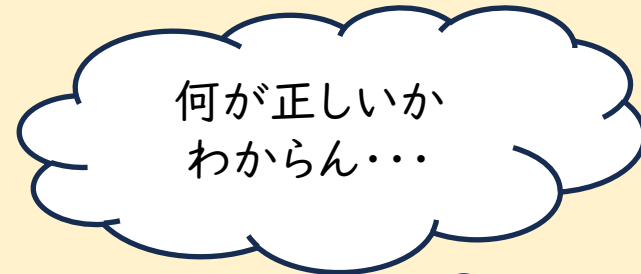
南さん（韓国語学習者）



スマホのリマインダアプリ



リマインダを見たとしても、
すぐ課題に
取り掛かれないときは
忘れてしまいます。



うーん...わかりました。
それでは、授業後、教室で
課題をしてもらって、質問
があれば受け付けるという
ことにしましょう。



私（韓国語教師）

自律学習を促す
という方向とは
逆なのは



教員A

他の学生からも
要求が出たとき、
対応できないのでは



教員B

- ADHDの診断
- 文字で伝えても、メモを見ることを忘れてしまう。
- 複数の課題を抱えるとパニックになってしまう
→期限までに提出できない

2. 教師用ケース教材

【ケースについて考える（一部）】

- この教師が「配慮申請」に対してとった行動や対処は、あなたから見て妥当だと思いますか。どうしてそのように思いますか。

「個人レベル」の問い

- 授業担当者は、学習者からの要望にどこまで対応すべきだと思いますか。

「学習空間レベル」の問い

- 学習の管理がうまくいかない人が身近にいた場合、それを自己責任だとすることに対し、どう思いますか。また、その背景にはどのような考え方があると思いますか。

「社会レベル」の問い

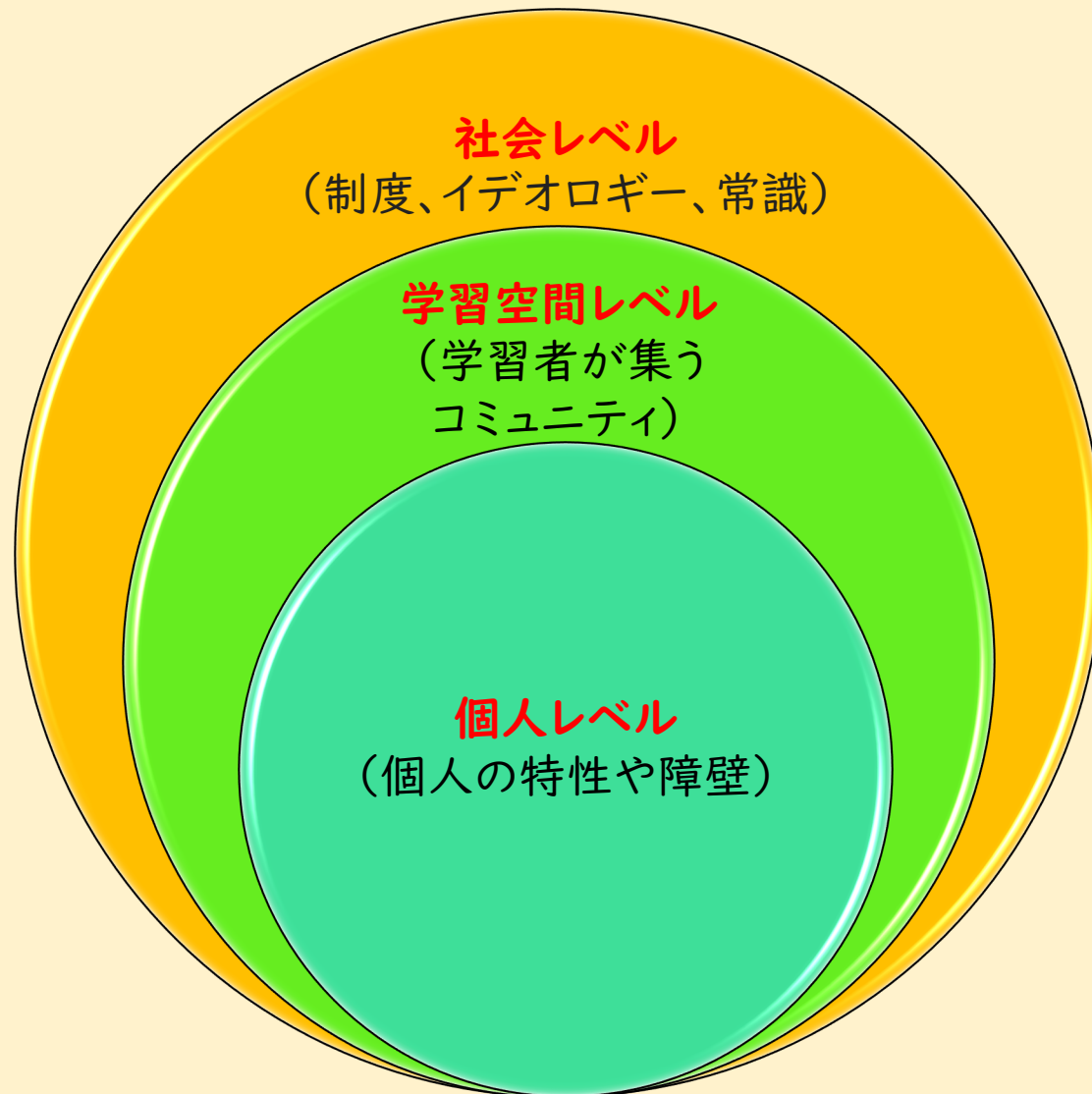
2. 教師用ケース教材

【ケースについて考える（一部）】

学習の管理がうまくいかない人が身近にいた場合、それを自己責任だとすることに対し、どう思いますか。また、その背景にはどのような考え方があると思いますか。

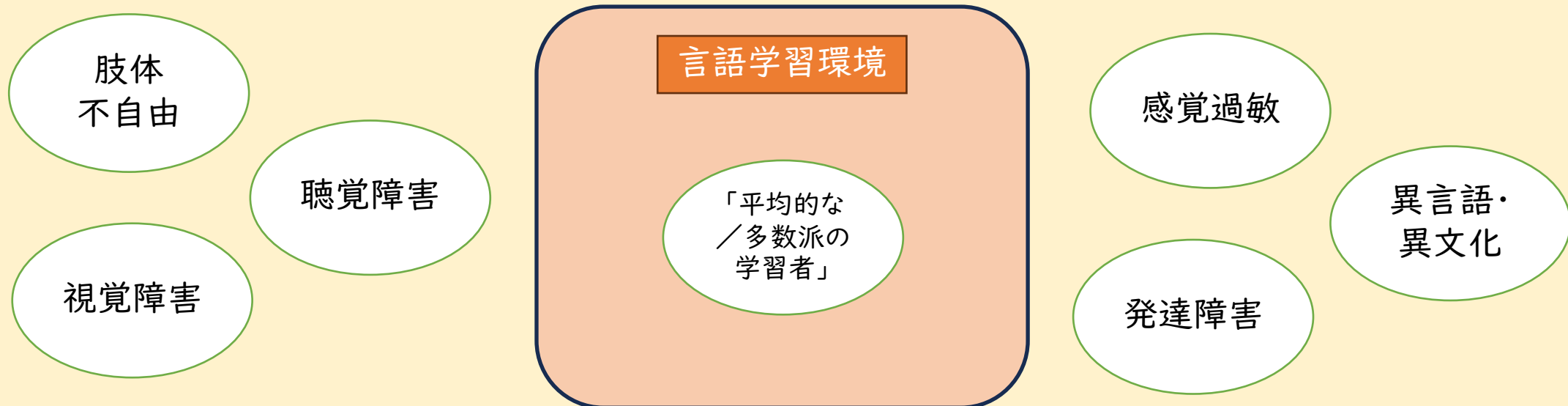
授業担当者は、学習者からの要望にどこまで対応すべきだと思いますか。

この教師が「配慮申請」に対してとった行動や対処は、あなたから見て妥当だと思いますか。どうしてそのように思いますか。



2. 教師用ケース教材

【本ケース教材の開発意図】



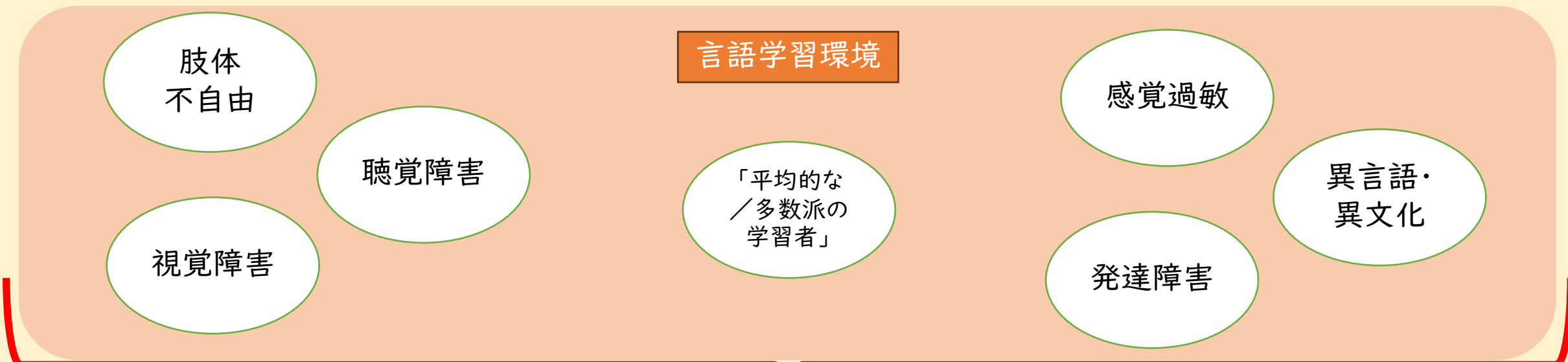
教師用
ケース教材：
個人、
学習空間、
社会レベル
の問いかけ

言語教育関係者のアウェアネス

目の前の事象を複層的に捉える
→ 自分なりの解決策を導く

2. 教師用ケース教材

【本ケース教材の開発意図】



教師用
ケース教材：
個人、
学習空間、
社会レベル
の問いかけ

言語教育関係者のアウェアネス

目の前の事象を複層的に捉える
→ 自分なりの解決策を導く

質疑応答&ディスカッション

【問い】

- ① ケースと「ケースについて考える」は、開発意図に照らして、適切だと思いますか。
- ② 社会レベルの問いを設定することによってどのような意義があると思いますか。

事例教材へのリンク

事例教材



参考

Webサイト

「言語教育におけるインクルージョンを考える」



参考資料

植村麻紀子・中川正臣・古屋憲章・池谷尚美・山崎直樹(2022).「当事者
駆動型の言語学習環境設計とは何かー言語教育におけるインクルー
ジョン実現のためにー」『神田外語大学紀要』34. pp.69-87

八木真奈美(編)(2022).『話す・考える・社会とつなぐためのリソース
わたしたちのストーリー』ココ出版.

ご清聴ありがとうございました。

本研究はJSPS 科研費 基盤研究(C) 課題番号20K00777
による助成を受けたものです。

本日の感想・コメントのご記入
よろしくおねがい致します。(無記名・自由記述のみ)

